

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年11月19日
【事業年度】	第136期（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	株式会社ニチリン
【英訳名】	NICHIRIN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 前田 龍一
【本店の所在の場所】	神戸市中央区江戸町98番地1 (同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)
【電話番号】	(079)252-4151(代表)
【事務連絡者氏名】	上席執行役員財務経理部長 難波 宏成
【最寄りの連絡場所】	兵庫県姫路市別所町佐土1118番地(姫路工場)
【電話番号】	(079)252-4151(代表)
【事務連絡者氏名】	上席執行役員財務経理部長 難波 宏成
【縦覧に供する場所】	株式会社ニチリン東京支社 (東京都港区芝浦一丁目3番11号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2020年3月26日に提出いたしました第136期（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 提出会社の状況

4 コーポレート・ガバナンスの状況等

(5) 株式の保有状況

保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式

八．特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第4【提出会社の状況】

4【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(5)【株式の保有状況】

保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式

八．特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報

(訂正前)

(特定投資株式)

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、定量的な保有効果 及び株式数が増加した理由	当社の株式の 保有の有無
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額 (百万円)	貸借対照表計上額 (百万円)		
本田技研工業(株)	399,822	393,768	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：持株会による買付	無
	1,239	1,139		
日産車体(株)	336,650	330,653	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：持株会による買付	無
	351	322		
東京センチュリー(株)	52,700	52,700	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	308	254		

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、定量的な保有効果 及び株式数が増加した理由	当社の株式の 保有の有無
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額 (百万円)	貸借対照表計上額 (百万円)		
日本精化(株)	200,000	200,000	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	258	205		
スズキ(株)	36,750	36,750	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	167	204		
日産自動車(株)	134,278	134,278	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	85	118		
(株)フジコー	15,400	15,400	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	42	43		
東邦金属(株)	28,800	28,800	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	有
	28	20		
(株)みずほフィナン シャルグループ	98,374	98,374	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	16	16		

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、定量的な保有効果 及び株式数が増加した理由	当社の株式の 保有の有無
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額 (百万円)	貸借対照表計上額 (百万円)		
(株)三井住友フィナン シャルグループ	2,460	2,460	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	9	8		
サンデンホールディ ングス(株)	12,000	12,000	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	10	8		
川崎重工業(株)	2,000	2,000	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	4	4		
(株)ケーヒン	-	2,400	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	-	4		

(注) 「 」は当該銘柄を保有していないことを示しております。

(訂正後)
(特定投資株式)

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、定量的な保有効果 及び株式数が増加した理由	当社の株式の 保有の有無 (注2)
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額 (百万円)	貸借対照表計上額 (百万円)		
本田技研工業(株)	399,822	393,768	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：持株会による買付	無
	1,239	1,139		
日産車体(株)	336,650	330,653	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：持株会による買付	無
	351	322		
東京センチュリー(株)	52,700	52,700	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	有
	308	254		
日本精化(株)	200,000	200,000	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	有
	258	205		
スズキ(株)	36,750	36,750	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	167	204		
日産自動車(株)	134,278	134,278	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	85	118		

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、定量的な保有効果 及び株式数が増加した理由	当社の株式の 保有の有無 (注2)
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額 (百万円)	貸借対照表計上額 (百万円)		
(株)フジコー	15,400	15,400	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の記載は困難であるが、「(5)株式の保有状況 イ」の記載内容に基づき、取締役会において検証し、その保有の意義が認められることを確認している 株式数の増加：なし	有
	42	43		
東邦金属(株)	28,800	28,800	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の記載は困難であるが、「(5)株式の保有状況 イ」の記載内容に基づき、取締役会において検証し、その保有の意義が認められることを確認している 株式数の増加：なし	有
	28	20		
(株)みずほフィナンシャルグループ	98,374	98,374	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の記載は困難であるが、「(5)株式の保有状況 イ」の記載内容に基づき、取締役会において検証し、その保有の意義が認められることを確認している 株式数の増加：なし	有
	16	16		
(株)三井住友フィナンシャルグループ	2,460	2,460	保有目的：株式の安定を図るため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の記載は困難であるが、「(5)株式の保有状況 イ」の記載内容に基づき、取締役会において検証し、その保有の意義が認められることを確認している 株式数の増加：なし	有
	9	8		
サンデンホールディングス(株)	12,000	12,000	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の記載は困難であるが、「(5)株式の保有状況 イ」の記載内容に基づき、取締役会において検証し、その保有の意義が認められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	10	8		
川崎重工業(株)	2,000	2,000	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の記載は困難であるが、「(5)株式の保有状況 イ」の記載内容に基づき、取締役会において検証し、その保有の意義が認められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	4	4		

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、定量的な保有効果 及び株式数が増加した理由	当社の株式の 保有の有無 (注2)
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額 (百万円)	貸借対照表計上額 (百万円)		
株)ケーヒン	-	2,400	保有目的：取引関係の維持・強化のため 定量的な保有効果：定量的な保有効果の 記載は困難であるが、「(5)株式の保有 状況 イ」の記載内容に基づき、取締役 会において検証し、その保有の意義が認 められることを確認している 株式数の増加：なし	無
	-	4		

(注) 1. 「」は当該銘柄を保有していないことを示しております。

2. 当社の株式の保有の有無については、銘柄が持株会社の場合はその主要な子会社の保有分(実質所有株式数)を勘案し記載しています。